

# 「マイケツタ」見参!

(前号よりつづく)

エアゾール金属探傷剤は、大きく浸透探傷剤と磁粉探傷剤に分けられる。浸透探傷剤とは、試験対象の材質にかかわらず、殆ど全ての材料・製品の表面検査に使用可能。試験体の表面に開口している微細なキズに、見えやすい色や輝きを持たせた浸透性のよい液体(浸透液)を浸み込ませ、再度表面に吸い出すことによりキズを拡大して見つけ出すことができる方法である。染色探傷と蛍光探傷方法があり、それぞれ洗浄剤(除去剤)・浸透剤・現像剤の3液が用いられる。一方、磁粉探傷試験とは、鉄鋼など強磁性材料の表面および表面近傍のキズを検出するのに適した方法。試験

体を磁化した場合、表面に磁粉を散布すると磁粉はキズの部分に発生する漏洩磁束に付着する。付着した磁粉によって、実際のキズの幅と比較し数倍から数十倍の幅のキズによる指示模様がで、容易に目視観察でキズが検出できるようになる。新型コロナウイルス禍は、エアゾール金属探傷剤市場においても例外なく影響を与えている模様。日本エアゾール協会調べによる国内生産量は、2019年の3億7千2百万から20年2億9千9百万へ、そして21年3億9千1百万と推移している。同市場を牽引するマークテックの常務執行役員クロール・長である市川大介氏は、市場動向として「202

1年の国内市場は、コロナ禍により減速した前年から概ね回復基調にあった。カテゴリー別に見ると、自動車向けは、半導体の不足の影響もあり工場の稼働が停止した影響も

## マークテック

その2

1年の国内市場は、コロナ禍により減速した前年から概ね回復基調にあった。カテゴリー別に見ると、自動車向けは、半導体の不足の影響もあり工場の稼働が停止した影響も

あるが、原子力発電所が停止している影響は引き続き存在している。今年の見通しとしても、コロナ禍が続いていること、特に海外の工場が止まっている影響で世界的なサプライチェーンの混

お客様には販売価格への転嫁をお願いしているところだが、適正価格の維持にご理解を頂く事に注力する」と語っている。同社のエアゾール製品において主力となるのは染色浸透探傷剤「スーパ

「低ハロゲン・低イオウタイプ」、そして「不燃性・非危険物」と大きく3つのタイプに分かれ、用途・目的によりさまざまな組み合わせが可能となっている。また2021年、マークテックは

て翌年、エコシリーズからエアゾール染色探傷剤「エコチェック」を投入している。「スーパークエック」シリーズと同等の探傷性能を有し、有機溶剤中毒予防規則に非該当「PRT法」に非該当「特定化学物質等予防規則」・水質汚濁防止法の指定物質を不使用と生物や環境に優しいエコ製品である。同社は「引き続き環境負荷の低減に向けた製品開発に注力」するとしながら、年々改訂される法規への対応や、不燃性製品の準備も完了、「使用者のメリットとなるような改良を続ける」としている。

一方で、蛍光浸透探傷剤「スーパークロー」「エコグロウ」シリーズにおいては、昨年10月に中国工場が米軍の品質認定「AMS2644」を取得し、その認定品である「EG3000」「P1300」の展開を開始。そのほか磁粉探傷剤「スーパーマグナ」「エコマ

## 幅広いラインナップ 金属探傷剤

有機則、PRTR  
など環境規制対応

### 磁粉探傷剤を新発売

乱が見られるため昨年の水準で推移するものと見ているが、今年の下半期には状況が改善しているという期待も持っている。現況において特に強

「一チェック」である。1956年から展開する同製品の現在のラインナップは、鉄・非鉄金属のあらゆる材料の探傷に適する「標準型」、ステンレス鋼・チタン合金・ニッケル合金の探傷に適した

①人体に対し安全であること、②環境を汚染しないこと、③省エネルギー・省資源であること④の3項目からなる独自の「イドライン」「エコ憲章」を定め、「エコ製品」のシリーズ化を開始。そし

グナ」シリーズでは高輝度高性能な新型エアゾール磁粉を発売するなど、環境対応・法令対応のみならず、高性能・高付加価値品の開発にも注力しているという。これらのほか同社はエアゾール製品として、精密機械等のケ

ガキ用「アオケソール」や、工業用脱脂洗浄剤「パークリーナーFT」「スーパークリーナーST」を取り扱っており、本紙推定による昨年の製販量は輸入品を含め10万缶前後に伸びるものと観測されている。

前号で紹介したとおりマークテックは3月から化学品の受託生産事業を本格的に開始している。今秋には成田工場で大規模な設備投資も計画されるなか、同社の西本圭吾社長は「顧客ニーズがあれば将来的にエアゾール充填も視野に入れていきたい」との意欲を見せている。

(おわり) 責・秋山



環境配慮型「エコチェック」(上)と磁粉探傷剤「スーパーマグナ」(下)